

甜脆土人醃藏糟漬及晒乾以貨于四方江東之地亦處處佳者不少民間荒饑所貴者也蕪菁子多油民間采油代麻油亦貨于四方以多爲燈用菘芥俱多油併稱菜種油也

〔和漢三才圖會草十九〕蕪菁 蔓菁 丸莢菘 諸葛菜

乎奈阿

根莖曰下體

和名加布  
貞○中略

攝州天王寺安部野之產根圓大甘美爲勝奧州津輕之產次之蓋有數種居座蕪須波里加布貞根入土淺而其大者徑四寸許莖葉不多然根平圓而大爲良子持菜古毛知奈莖葉多結實亦多爲良晚熟菜於久天榮大抵四月初開花此菜五月中開花而花實少然以耐久爲良三種共八月下種彼岸生苗爲準遇霜乃味愈

美其根煮食甚甘辛不苦

〔延喜式三十〕耕種園圃

營蔓菁一段種子八合總單功卅二人半耕地五遍耙犁二人半馭牛二人半牛二頭半料理平和一人

糞土百二十擔擔別准六斤運動廿人人別日六度從左右馬察運北園下皆准此下子半人月七八探功六人

〔農業全書〕蕪菁

うゆる地の事若は家の跡かきかべの崩跡などの古き土を好む物なり其故床の下などの舊土を用ひて蒔糞とする事よしいか程も肥熟したる地を耕しこなし塊少しもなき様に委しくこしらゆる事大根に同じ大根は久しく地を晒し置たるがよし蕪菁は當時によくこなしてもくらしきからず灰糞を以て蒔べし種子おほひいかにもうすくすべし蒔たる上を鍬にて少しをし付るか足にてかるくふみたるもよしつよくふむは大きにあし、雨の後など玄めりたる時は其ま、置べしめたねと土と思ひ合すべきためなりうるほひつよくは蒔べからず生出ては中うちすべからず略中種子を收めをく事は大根と同じ是もうへ付はあし又多くうへて油にするも苦しからず略下

〔菜譜上菜〕凡かぶらを作るに糞を玄ばくそぐべし